

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 地域との交流を継続し、更なる絆の構築に務める為に、校区会合や地区行事等への参加を管理者だけでなく職員・利用者共に図っていく。	①地域に向けた認知症の勉強会の実施。 ②地域交流室を地区会合等で活用して頂き積極的な地一期校流を目指す。 ③地区行事等への積極的参加。	①菊陽町役場地域包括と連携し、認知症サポーター養成講座を計画的に実施。 ②区長・組長・地区民生委員様と連携し、地域の風を事業所へ取り込んでいくため運営推進会議等で説明を行い、会議後は昼食の提供等を行っていく。 ③勤務表を調整し、管理者・職員が輪番で参加できる様にする。また、地区行事参加後は会議等で発表に場を設ける。	①12ヶ月 ②12ヶ月 ③12ヶ月
2	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 福祉体験受け入れまで行っておらず、子ども会や近隣学校等と連携していく。	①ナイストライの受入れ。 ②近隣学校からの福祉体験の推進。	①菊陽町社会福祉協議会と連携し、福祉体験事業へ協力要請する。 ②近隣に小・中学校があり、訪問し福祉体験の主旨を説明し、学生の受入の推進を行っていく。	①12ヶ月 ②12ヶ月
3	35	○災害対策 いざという時に近隣のご協力無くして、利用者の安全の確保が職員だけでは困難。 避難訓練も職員だけで訓練するだけでなく地域の協力が必要不可欠となっている。	①自治会の避難訓練への参加及び合同避難訓練の呼びかけ ②防災マニュアルの見直し。 ③家族への災害時の連絡体制の確立。	①運営推進会議やおりを見ては、自治会長様に打診して自治会の承諾を得て年1回の開催へ繋げる。 ②防災マニュアルの見直しと改善点の洗い出しと改善後の職員への徹底。自治会長様へもマニュアルの確認を依頼し不足点等の補填。 ③家族会会長と相談・連携し体制の見直しと家族会の避難訓練の参加。	①12ヶ月 ②12ヶ月 ③12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。